

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

平成30年11月20日 第110号

## なめがたファーマーズビレッジに行ってきました

茨城県行方市にある、なめがたファーマーズビレッジに行ってきました。農業、特にさつまいもを前面に出した体験型農業テーマパークです。さつまいもの健康効果をアピールするテレビ番組では、必ずといっていいほどこちらの施設が取り上げられるのでご存知の方も多いと思います。廃校になった小学校跡地を利用していることでも有名です。なんでもこの施設がオープンしたおかげで、行方市の観光客数が何倍にもなったそうです(おそらく元々ほとんど観光客は来ていなかったでしょうが)。天気の良い土曜日のお昼頃に行きましたが、ひっきりなしに車が到着するものの、混雑したイメージもなく丁度良い感じです。



お約束の「干し芋の食べ比べ」。

今回感じたのは、この施設はとにかく運営が上手。マスコミへの露出やホームページの作り込み。そして価格設定はどれも少し高い、しかしぼったくりではない。しっかりと利益を出して、再投資しているのだと思います。よほど才能のあるプロデューサーがサポートしているのではないのでしょうか。

メインの建物はおしゃれなのですが、想像していたよりは少し小ぶりでした。野菜の直売所はかなり小さなスペースのみ。ただし、この施設は物販だけではなく、自分で調理したり、収穫したりなど様々な体験をすることで、仕方ないのかもしれませんが。ビュッフェレストランは美味しかったです。



近所にはレンコン畑が広がっています。



こんなにたわわに実っていたのに。

### 我が家の畑

今年初めて挑戦した落花生。試しに二株だけ収穫し、一部を茹でてみましたが、個人的には好みではありませんでした。やはり炒った方がおいしいだろうと、勝手口のおいしいだろうと、勝手口の前で天日干しにします。

翌日たまたま少し早く帰宅すると、勝手口そばのフェンスに、何かを啜っているカラスがいました。よく見ると落花生！。勝手口前の落花生は三割しか残っていませんでした。

翌週畑に行くと、逆さにして乾燥(地干し)していた落花生は、一切のこっていませんでした。悲しいです。

## 中業企業の人手不足対策の傾向

人手不足の現在、中小企業はどのような人手不足対策を行っているのか、「中小企業の人手不足に対する意識調査(2018年7月)」(商工中金)の結果からみてみます。

※商工中金取引先中小企業 10,150社を対象に実施、有効回答数は4,764社。

人手不足対策としては、「従業員の能力向上」が46%と最多で、次いで「職場環境の改善」(35.1%)、「賃上げ等の雇用条件の改善」(31.8%)、「高齢者の採用拡大」(29.7%)、「外注(アウトソーシング)の拡大」(27.5%)、「業務プロセスの効率化」(27.2%)、「定着率向上」(25%)、「機械設備導入による省力・省人化」(22.9%)、「従業員の兼任化」(18.4%)、「女性の採用拡大」(17.8%)、「定年延長・廃止」(13.7%)、「外国人の採用拡大」(11.8%)、「パート・非正規の正社員化」(10.1%)といった対策を行っています。



現状では新たな採用はなかなか期待できませんので、日々の仕事の中で、業務上やらないことをピックアップするのも大切だと思います。

## その不調、「冬うつ」かも

うつ病にはさまざまな種類がありますが、季節性のうつ病もあることをご存じですか？

その1つ「冬季うつ」は、その名のとおり冬の期間(秋から春にかけて)にのみうつ病のような症状が出る病気です。主な症状はうつ病と同じですが、10時間以上寝ても眠くなる「過眠」、特に炭水化物や甘いものの「過食」といった、うつ病の場合(不眠・食欲不振)とは逆の症状も現れるため、うつとは自覚されにくいことも多いようです。毎年、冬にだけ強い疲労感や眠気があり、それが生活にも支障を来すようであれば、冬季うつになっている可能性がありますので、注意が必要です。

冬季うつの特徴である強い眠気は、仕事上でのトラブルのもとにもなりかねず、企業としても対策が必要です。日常生活の中で少し意識するだけで、冬季うつは予防・改善することができます。屋内で仕事をしている人は日照不足になりがちですから、休憩時間等には屋外や窓辺で日光を浴びるよう促しましょう。また、日光に限らず、照明の光を浴びるだけでも効果があるとされており、部屋を明るくするだけでも予防・改善につながります。